

科目名	政治・経済	学年	普通				必/選	単位数
			国文	普通	理進	体育		
			3	○		○		
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、国際関係などについて客観的に理解させる。また、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある人間として必要な態度を育てる。							
授業・学習の進め方	教科書を基本にして学習する。そこに時事問題を加えて、生活に密着した授業にしていく。また、単元終了時に授業のまとめプリントや小テストを行い、知識の定着をはかっていく。「総合的な学習の時間」の内容などに留意しつつ、主権者教育や労働問題の理解など、生徒の活動や体験につながる授業に努める。							
教材	教科書『最新 政治・経済 新訂版』（実教出版） 資料集『最新図説 政経』（浜島書店）							
成績・評価について	次の4つの観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。 1. 関心・意欲・態度（授業へ取り組む姿勢、課題の提出状況） 2. 思考・判断・表現（課題の発見、多面的・多角的考察と判断、発表） 3. 資料活用 of 技能（資料の収集・情報の選択、効果的活用） 4. 知識・理解（基本事項の理解）							
年間の学習内容・学習のねらい・観点								
月	学習内容	考査	学習のねらい	観点				
				1	2	3	4	
4 5 6 7	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権	中間 期末	・国内政治や国際政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主政治の本質を探究する姿勢を身につけさせる。 ・人権保障、国民主権、法の支配など民主主義の原理やその発展について理解させる ・日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大基本原理を把握させる。 日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
9 10 11 12	第3章 日本の政治制度と政治参加 第4章 現代の国際政治 第5章 日本の平和主義と国際平和 第2編 現代の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上	中間 期末	・国会・内閣・裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察させる。 ・日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。 ・国際政治や国際法に関する基本的な理解を深め、国連を初め国際機関の役割について考えさせる。 ・日本国憲法における平和主義の意義と冷戦終結後の日本の安全政策のあり方を考えさせる。 ・基本的な経済の仕組みを理解させるとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察させる。 ・資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 ・市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深化させる。	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
1	第3章 現代の国際経済 第3編 現代社会の諸課題	学年末	・貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解させる。 ・政治や経済に関する基本的な理解を踏まえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追求する態度を養わせる。	○	○	○	○	